

日本救急救命士会主催
第 49 回救急救命士国家試験応援セミナー

2026 年 2 月 23 日（月）

参加者限定プレゼント



一般社団法人

日本救急救命士会

Japan Emergency Life-Saving Technician Association

暗記問題（穴埋め形式） 解答付き

- ◎ 分野ごとに穴埋め形式になっています。
- ◎ 穴埋め形式が終わったら、国家試験形式の問題にも挑戦してみよう！

【医の倫理と生命倫理】

- ① 蘇生拒否 (DNAR) は生前意思 (**リビングウィル**) に基づいている。
- ② 適切な医療機関へ搬送すること、特定行為を行うこと、自殺企図の傷病者に救急救命処置を行う根拠は生命倫理の (**善行の原則**) に含まれる。
- ③ 傷病者の意思を優先することは生命倫理の (**自立尊重**) に該当する。
- ④ (**アドバンス・ケア・プランニング**) は本人の人生観を尊重する。
- ⑤ 良質な医療を受ける権利について言及しているのは (**リスボン宣言**) である。
- ⑥ ヘルシンキ宣言で医学研究における (**患者の人権**) を守る勧告がなされ、(**インフォームド・コンセント**) の指針が示された。

【健康と社会保障】

- ① 医療計画の 5 事業に (**救急医療**)、(**災害医療**)、(**小児医療**)、(**周産期医療**)、(**へき地医療**)、があり、6 疾病に (**がん**)、(**脳卒中**)、(**急性心筋梗塞**)、(**糖尿病**)、(**精神疾患**)、(**新興感染症対策**) がある。
- ② 知的障害者には (**療育手帳**) が交付される。
- ③ 特定健康診査の対象は (**40**) 歳からである。
- ④ 近年の人口動態統計で死因順位の 1-3 位は、(**悪性新生物**)、(**心疾患**)、(**老衰**) となっている。
- ⑤ 近年の人口動態統計で 10-39 歳の死因順位の 1 位は (**自殺**) である。
- ⑥ 近年の人口動態統計で 0 歳児の不慮の事故は (**窒息**) による死亡が最も多い。
- ⑦ 死因別に見た死亡率の年次推移で (**脳血管疾患**) と (**交通事故**) は減少傾向にある。
- ⑧ 死亡者の最も多い労働災害は (**墜落・転落**) である。
- ⑨ (**介護老人保健施設**) と (**特別養護老人ホーム**) は常勤医師の配置が義務付けられている。
- ⑩ 保健所の業務は、(**統計調査**)、(**栄養改善**)、(**食品衛生**)、(**エイズ対策**)、(**結核対策**)、(**精神保健福祉**)、(**歯科保健**)、(**応急処置の普及啓発**) である。
- ⑪ 保健所長は原則として (**医師**) である。
- ⑫ 国民健康保険の保険者は (**市町村**) で (**農・漁業**) や (**自営業者**) が加入する。
- ⑬ 医療保険は (**現物**) 給付を原則とし、(**死亡**) 給付、(**出産**) 給付、(**療養**) 給付、(**傷病手当金**) 給付がある。
- ⑭ 介護保険の保険者は (**市町村**) である。
- ⑮ 介護保険の保険料は (**40**) 歳以上の者が支払う。
- ⑯ 介護保険の利用者は自ら (**サービス**) の種類を選択することができる。
- ⑰ (**居宅療養**) 管理指導、(**訪問介護**)、(**訪問看護**)、(**訪問リハビリテーション**) は介護保険サービスに含まれる。
- ⑱ 生活保護制度は憲法にある (**生存権**) の保障に基づき、(**福祉事務所**) が担当する。
- ⑲ 生活保護による扶助は (**医療**)、(**介護**)、(**出産**)、(**葬祭**) で受けられる。

- ⑳ 社会保障給付費のうち(**年金**)の占める割合が最も多い。
- ㉑ 児童虐待を発見した者は(**児童相談所**)または(**福祉事務所**)に通報する。
- ㉒ 疾病の一次予防に健康増進(**生活習慣改善・禁煙**)、(**予防接種**)がある。
- ㉓ 疾病の二次予防に(**健康診断**)、(**がん検診**)、三次予防に(**リハビリテーション**)がある。
- ㉔ 近年の障害の種類別にみた身体障害者では(**肢体不自由**)が最も多い。
- ㉕ (**厚生労働省**)が空港検疫を行う。

【解剖・生理学】

- ① (**烏口突起**)は肩の先端にある。
- ② (**乳様突起**)は体表面から確認できる解剖学的指標のうち最も頭側にある。
- ③ 前腕を水平に保ち手掌を下に向ける運動が(**回内**)、上に向ける運動が(**回外**)である。
- ④ (**内転**)は正中線方向へ近づく動きである。
- ⑤ (**屈曲**)は矢状面で行われる動きである。
- ⑥ 外旋が可能な関節は(**肩関節**)、(**股関節**)、(**膝関節**)である。
- ⑦ 一方向のみ動く(**蝶番**)型の関節に(**肘関節**)、(**膝関節**)がある。
- ⑧ 脳幹は(**間脳**)、(**中脳**)、(**橋**)、(**延髄**)で構成されている。
- ⑨ 脊髄は中央部に(**灰白質**)、辺縁部に(**白質**)があり、(**31**)対の脊髄神経が出ている。
- ⑩ 脳血流は心拍出量の約(**15**)%である。
- ⑪ 健常成人の1日の髄液産生量は(**500**)mLである。
- ⑫ 視覚の中樞は(**後頭葉**)にあり、視覚路は網膜→(**視神経**)→(**視索**)→(**外側膝状体**)→(**視放線**)→(**後頭葉**)である。
- ⑬ 動眼神経は(**眼球運動**)、(**瞳孔反射**)に関与する。
- ⑭ 三叉神経は(**顔面の知覚**)を支配する。
- ⑮ 唾液分泌、(**顔面表情筋の動き**)、(**味覚**)は(**顔面神経**)と関係がある。
- ⑯ 成人の切歯から喉頭までの長さは、(**12~13**)cmである。
- ⑰ 気管の分岐する高さは(**第4~5胸椎**)であり、右気管支は左気管支に比して、分岐角度は(**小さ**)く、長さは(**短い**)。
- ⑱ 腹直筋は(**呼吸筋群**)である。
- ⑲ 鼻腔には(**加湿**)機能、咽頭は(**生体防御**)機能・(**発声**)機能・(**誤嚥防止**)機能がある。
- ㉑ 健常成人の1回換気量は(**500**)mLである。
- ㉒ 大動脈弁は(**半月弁**)である。
- ㉓ 心拍出量は(**1回拍出量**)×(**心拍数**)で算出できる。
- ㉔ 成人の安静時心拍出量は(**5**)Lである。
- ㉕ 食道には(**3**)ヶ所の生理的狭窄部がある。
- ㉖ 成人の食道は(**第6頸椎**)の高さで咽頭から続き気管の(**背面**)を通り、(**横隔膜**)を貫通して、

胃の(噴門)に接続する。

- ②6 後腹膜臓器は(腎臓)、(十二指腸)、(副腎)、(尿管)、(腹部大動脈)、(脾臓)、(下大静脈)である。
- ②7 回腸は(上腸間膜)動脈により栄養される。
- ②8 成人の食物の胃内停滞時間は(2~4)時間である。
- ②9 肝臓には(アルブミン)、(グリコーゲン)、(ヘモグロビン)、(ビリルビン)、(胆汁)、(プロトロンビン)、(フィブリノゲン)、(血液凝固因子)の合成や分解などの機能がある。
- ③0 (インスリン)、(トリプシン)、(リパーゼ)、(アミラーゼ)は(膵臓)から分泌される。
- ③1 膵臓のランゲルハンス島は(グルカゴン)と(インスリン)を分泌する。
- ③2 ナトリウムは(尿細管)で再吸収される。
- ③3 腎臓は(エリスロポエチン)、(レニン)を産生する。
- ③4 腎臓には(血液 pH)・(血清浸透圧)・(体液量)の調整する機能がある。
- ③5 赤血球は(無核)細胞で変形機能を有し、寿命は(80~120)日で、(脾臓)で破壊される。
- ③6 健常成人の白血球数は(4500~8500)/mm³である。
- ③6 血小板は(無核)細胞で(骨髓)で生成され、寿命は約(10)日である。
- ③7 (プロゲステロン)は月経周期に関係する。
- ③8 (副甲状腺ホルモン)はカルシウム代謝に関係する。
- ③9 副腎髄質は(アドレナリン)を分泌し、副腎皮質は(コルチゾール)を分泌する。
- ④0 アルドステロンは(副腎皮質)から分泌し(体内水分量)の調整に関与する。
- ④1 卵巣は(エストロゲン)と(黄体ホルモン)を分泌する。
- ④2 眼球運動に(上直筋)、(下斜筋)、(外側直筋)、(内側直筋)が関与する。
- ④3 (中耳)と(内耳)は側頭骨に位置し、中耳に(鼓室)、内耳に(前庭)が位置する。
- ④4 (耳小骨)は鼓膜に接している。
- ④5 平衡感覚を感知するのは(三半規管)である。

【薬理学】

- ① 薬物の保管に関して、(光)や(湿度)も劣化の原因となる。
- ② LD₅₀は50%(致死量)、ED₅₀は50%(有効量)であり、LD₅₀はED₅₀よりも大きい。
- ③ 薬物投与経路で血中濃度がもっとも早く上昇するのは(静脈内注射)である。
- ④ アドレナリンの作用は(末梢血管)収縮、(心収縮力)増強、(心拍数)増加、(冠血流)増加、(気管支)拡張である。
- ⑤ 乳酸リンゲル液の電解質組成は(細胞外液)に近似の組成であり、(ナトリウム)と(クロール)を多く含む。
- ⑥ 乳酸リンゲル液は(等張)液であり、細胞外液と(浸透圧)が等しい。
- ⑦ 乳酸リンゲル液は細胞外液の補充を目的に投与され、(循環血液量)を増加させる。
- ⑧ ブドウ糖は(低血糖)の改善に用いる。
- ⑨ (アスピリン)、(ワルファリン)は出血を助長させる。
- ⑩ β刺激薬は(気管支)を拡張する。

【法医学】

- ① 心臓死の三徴には(**心拍動の停止**)・(**呼吸の停止**)・(**瞳孔の散大と対光反射の消失**)がある。
- ② 早期死体現象に(**死斑**)、(**死後硬直**)、(**角膜混濁**)がある。
- ③ 死後硬直は(**顎**)→(**四肢の大関節**)→(**手指・足趾**)の順番で出現する。
- ④ 死後硬直は死後(**30**)分～(**2**)時間で出現しはじめ、死後(**6～8**)時間で全身の諸関節に及び、(**12～18**)時間でもっとも強い硬直の状態となる。
- ⑤ 死後硬直の出現は死体温や環境温が高いと(**早**)く出現する。
- ⑥ 死斑は死後(**30**)分で薄く出現し、(**2**)時間ではっきりとし、(**6～10**)時間で著明となる。
- ⑦ 突然死の場合、死斑の出現は(**早**)く、程度も(**強**)い。一方、失血死の場合、死斑の出現は(**遅**)く、程度も(**弱**)い。
- ⑧ 晩期死体現象に(**自家融解**)、(**腐敗**)、(**ミイラ化**)、(**白骨化**)などがある。

【観察】

- ① GCS で除皮質肢位は(**M3**)、除脳肢位は(**M2**)、四肢を全く動かさないのは(**M1**)である。
- ② JCS(**300**)はGCS3に相当する。
- ③ 前頭葉の障害で(**情動**)異常がみられる。
- ④ 側頭葉の障害で(**記憶**)障害、(**感覚性**)失語がみられる。
- ⑤ 動眼神経の障害は(**眼球運動障害**)、(**眼瞼下垂**)を起こる。
- ⑥ 顔面神経障害で(**兔眼**)、(**顔面表情筋**)麻痺が起こる。
- ⑦ 舌咽神経の障害で(**嚥下**)障害が起こる。
- ⑧ 迷走神経の障害で(**声帯**)麻痺が起こる。
- ⑨ 片麻痺の判断に(**ドロッピング**)テストを行う。
- ⑩ 上肢の(**バレー徴候**)の観察は、傷病者の状態を起こし、(**両腕**)をまっすぐ前方に伸ばし、(**手掌**)を上に向けて、(**閉眼**)して行う。
- ⑪ 横隔神経麻痺により(**胸式**)呼吸となる。
- ⑫ (**クスマウル**)呼吸は尿毒症、代謝性疾患でみられる。
- ⑬ 失調性呼吸は(**延髄**)が障害された時にみられる。
- ⑭ (**チェーン・ストークス**)呼吸は、脳出血、脳梗塞、心不全などでみられる。
- ⑮ II音は(**駆出期**)の終わりに聴こえる。

【救急蘇生法】

- ① 「救命の連鎖」における、1つ目の輪は(**心停止の予防**)、2つ目の輪は(**心停止の早期認識と通報**)、3つ目の輪は(**一次救命処置**)、4つ目の輪は(**二次救命処置と心拍再開後の集中治療**)である。
- ② 小児の一次救命処置で人工呼吸の準備ができたなら直ちに(**2回の人工呼吸**)を行う。
- ③ 小児の救急蘇生法では、呼吸数(**10**)/分未満で人工呼吸を行う。
- ④ 小児の胸骨圧迫と人工呼吸の比率は、二人法の場合は(**15対2**)、一人法の場合は(**30対2**)である。
- ⑤ アドレナリンの投与は医師の具体的指示で(**3～5**)分毎に行う。
- ⑥ アドレナリンの追加投与の判断は(**心電図波形確認**)に合わせて行う。

- ⑦ アドレナリン投与は(**総頸動脈拍動**)を認めれば中止する。

【救急救命士が行う処置】

- ① 気管挿管の際に行う(**BURP 法**)は、声門視野の改善を図るために行う。
- ② 成人男性の気管チューブの内径は(**7.5**)mm または(**8**)mm、深さは門歯から(**20~24**)cm とする。
- ③ ビデオ硬性喉頭鏡による気管挿管は(**頸髄損傷**)が強く疑われる傷病者にも使用可能である。
- ④ 救急救命士が静脈路確保に用いる血管は(**手背静脈**)(**肘正中皮静脈**)(**橈側皮静脈**)(**尺側皮静脈**)(**大伏在静脈**)(**足背静脈**)である。
- ⑤ 静脈路確保の際の穿刺角度は(**5~20**)°、表在性の血管の場合は(**5~15**)°で行う。
- ⑥ ターニケットによる止血では、出血部位の(**5~8**)cm 中枢側にバンドを巻く。(**2**)時間までは許容され、解除する場合は、原則として(**医師の管理下**)で行う。
- ⑦ 収縮期血圧は(**聴診法**)よりも(**触診法**)で低く測定される。
- ⑧ 心電図モニターに用いる近似肢誘導で(**Ⅱ誘導**)が最も不整脈を見つけやすい。
- ⑨ 救急救命士の行う血糖測定は(**15**)歳以上で(**JCS10**)以上の意識障害で適応となる。
- ⑩ ブドウ糖溶液は 20mL あたり(**90**)秒以上かけてゆっくり投与する。

【救急症候・病態生理学】

- ① ショックの 5P は(**蒼白**)(**冷汗**)(**虚脱**)(**脈拍消失**)(**呼吸不全**)である。
- ② 心外閉塞・拘束性ショックでは(**肺血栓塞栓症**)(**心タンポナーデ**)(**緊張性気胸**)が原因となる。
- ③ 一時的脳病変による意識障害は(**瞳孔不同**)をきたしやすい。
- ④ 代謝性疾患に伴う意識障害では(**認知障害**)が強い。
- ⑤ 無気肺は(**肺内シャント**)の増加で低酸素血症をきたす。
- ⑥ 中枢性めまいの症状に(**構音障害**)、末梢性めまいの症状に(**難聴**)(**耳鳴**)(**耳閉塞感**)がある。
- ⑦ 症候性てんかんの原因に(**脳血管障害**)(**頭部外傷**)などがある。
- ⑧ (**血圧上昇**)と(**徐脈**)は、頭蓋内圧亢進症状(**クッシング徴候**)である。
- ⑨ 胸痛が深呼吸で増悪する場合は(**胸膜炎**)を疑う。
- ⑩ (**20 分以上持続する**)胸痛は急性心筋梗塞の特徴である。
- ⑪ 持続的な咳嗽や喀血が続いている場合、(**肺結核**)を疑い、救急隊は(**N95**)マスクを着用する。
- ⑫ 心窩部痛の原因に、(**十二指腸潰瘍**)(**急性心筋梗塞**)(**急性虫垂炎**)などがある。
- ⑬ マロリー・ワイス症候群は激しい嘔吐が原因で(**無痛**)性で(**鮮紅**)色の吐血をきたす。
- ⑭ 腸重積では(**イチゴゼリー状血便**)がみられる。

【疾病救急医学】

- ① くも膜下出血の原因に(**脳動脈瘤**)と(**脳動脈奇形**)がある。
- ② (**片麻痺**)(**片側顔面麻痺**)(**構音障害**)などは脳梗塞に特徴的な症状である。
- ③ 血栓溶解療法の適応は、発症から(**4.5**)時間以内である。
- ④ 気管支喘息発作で(**意識障害**)(**チアノーゼ**)(**体動不能**)(**失禁**)は重篤に該当する症状である。
- ⑤ (**下肢静脈瘤**)(**長期臥床**)(**脱水**)(**妊娠**)(**経口避妊薬**)(**心不全**)(**外傷**)(**肥満**)

などは肺血栓塞栓症の誘引となる。

- ⑥ 過換気症候群は(若年)女性に多く、(精神的ストレス)により誘発され、(空気飢餓感)、(呼吸困難)、(胸部圧迫感)、(動悸)、(四肢の知覚異常(しびれ))、(テタニー様痙攣)がみられる。
- ⑦ 急性心筋梗塞を疑う疼痛(放散痛)部位に、(左下臼歯)、(下顎)、(前頸部)、(左肩)、(上肢内側)、(心窩部)などがある。
- ⑧ 急性心筋梗塞では(ST 上昇)の心電図変化がみられる。
- ⑨ 急性大動脈解離では(血圧の左右差)、(片麻痺)、(意識障害)、(脳梗塞)、(急性心筋梗塞)、(心タンポナーデ)、(大動脈弁閉鎖不全)、(急性腎不全)、(腸管虚血)などが生じる。
- ⑩ (羽ばたき振戦)は急性肝炎の劇症化を示唆する。
- ⑪ 急性膵炎では(間欠で反復)する痛み、(腸蠕動音消失)、(カレン)徴候、(グレイ・ターナー)徴候がみられる。
- ⑫ 十二指腸潰瘍では(空腹)時に増強する(心窩部)痛がみられる。
- ⑬ 腎前性急性腎障害の原因に(心原性ショック)、(急性心不全)、(大量出血)、(脱水症)がある。
- ⑭ 糖尿病ケトアシドーシスは(1 型)糖尿病に多く、(悪心・嘔吐)、(多飲)、(傾眠)、(口渇)、(クスマウル呼吸)、(呼気アセトン臭)がみられる。
- ⑮ 腰椎椎間板ヘルニアは、腰背部痛が(下肢)に放散し、重症例では(排尿障害)をきたす。
- ⑯ 新生児のアプガースコアの項目に(心拍数)、(呼吸)、(筋緊張)、(反射)、(皮膚色)がある。
- ⑰ SIDS は、生後(3～4)ヶ月がピークで(6)ヶ月未満に好発する。疫学的リスク因子に(うつ伏せ寝)、(両親の喫煙)、(ミルク栄養)、(低出生体重児)、(早産児)などがある。
- ⑱ 認知症中核症状は(記憶障害)、(見当識障害)、(理解・判断力障害)、(実行力障害)である。
- ⑲ 弛緩出血は(胎盤娩出後)に発症し、大量出血をきたす。速やかに(子宮輪状マッサージ)を行う。
- ⑳ セン妄とは(軽度の意識障害)に(幻覚)、(妄想)、(興奮)を伴った状態のことである。

【外傷】

- ① 外傷死の三徴は(低体温)、(アシドーシス)、(血液凝固障害)である。
- ② 外傷傷病者の緊急度評価の優先順位は(生理学的)評価、(解剖学的)評価、(受傷機転)の順である。
- ③ ハンドル外傷で(肝臓)、(十二指腸)、(膵臓)が損傷を受けやすい。
- ④ 乗用車に跳ねられた歩行者の三次損傷は(道路路面)との接触で起こる。
- ⑤ 初期評価と同時に行う処置として(用手の頸椎保護)、(気道確保)、(補助換気)、(止血)がある。
- ⑥ 全身観察で下肢長差がみられた場合、(骨盤骨折)を疑う。
- ⑦ 急性硬膜下血腫は(架橋静脈)が出血源で、急性硬膜外血腫は(中硬膜動脈)からの出血が多い。
- ⑧ 前頭蓋底骨折では(ブラックアイ)、中頭蓋底骨折では(バトル徴候)が出現する。
- ⑨ (中心性脊髄損傷)では下肢よりも上肢に強い麻痺が起こる。
- ⑩ 頸髄損傷では(血圧低下)、(徐脈)、(腹式呼吸)、四肢の(感覚・運動麻痺)、持続(陰茎勃起)、(失禁)、(肛門反射)消失がみられる。
- ⑪ 緊張性気胸では(皮下気腫)、(呼吸音)減弱、(頸静怒張)、(血圧低下)、(気管偏位)、(胸郭膨隆)などがみられる。
- ⑫ 骨盤固定具は(大転子部)に装着する。
- ⑬ 鈍的外力が皮膚軟部組織の表面に沿った方向に働いて起こる外傷に、(デコルマン)損傷と(デグロービング)損傷がある。(皮下組織)と(筋膜)の間が離開する。

- ⑭ 四肢の急性阻血徴候(5P)に(異常感覚)、(疼痛)、(麻痺)、(蒼白)、(脈拍消失)がある。(疼痛)と(脈拍消失)はコンパートメント症候群の末期的状態における徴候である。
- ⑮ 高齢者の転倒で(橈骨遠位端骨折)、(上腕骨近位端骨折)、(脊椎圧迫骨折)、(大腿骨頸部骨折)が発症しやすい。

【中毒】

- ① 急性中毒で発熱をきたすのは(アスピリン)と(覚醒剤)である。
- ② (ベンゾジアゼピン中毒)では呼吸抑制をきたす。
- ③ (アセトアミノフェン中毒)は摂取後、遅発性に症状が出現する。
- ④ 三環系抗うつ薬による中毒で(全身痙攣)、(心室性不整脈)が起こる。
- ⑤ (テトロドトキシン)は主にフグの肝臓や卵巣に含まれ(骨格筋麻痺)をきたす。
- ⑥ 有機リン中毒で(縮瞳)、(意識障害)、(発汗)、(流涎)、(気道分泌亢進)、(呼気ニンニク臭)などがみられる。
- ⑦ パラコート中毒では、舌の(青緑着色)、口唇びらんがみられる。
- ⑧ ヒ素中毒で(ニンニク)臭を生じる。
- ⑨ 一酸化炭素中毒では、(皮膚紅潮)、(意識障害)がみられる。
- ⑩ 覚醒剤による精神運動興奮期に(散瞳)、(頻呼吸)がみられる。
- ⑪ アンフェタミン中毒では(発汗)、(体温上昇)、(中枢神経興奮)をきたす。
- ⑫ モルヒネ中毒では(縮瞳)、(呼吸抑制)をきたす。
- ⑬ 化学物質に暴露された傷病者の(着衣)は直ちに除去する。
また、化学物質に暴露された傷病者の(皮膚損傷)は曝露後も進行する。
- ⑭ 化学物質に暴露された傷病者の暴露部位は(水道水)で洗浄する。
- ⑮ アルカリによる損傷では(鹼化作用)、(蛋白変性作用)、(酵素活性の消失)を起こし、損傷は組織の深部に達する。

【環境障害】

- ① 潜水反射は冷水の場合が多く、(小児)で起こりやすく、(徐脈)、(末梢血管収縮)をきたす。
- ② 浸水時間が(25)分以上は予後が悪い。
- ③ 熱中症Ⅱ度では、(発汗)、(ナトリウム欠乏)、(全身倦怠感)を伴う。
- ④ 中心部体温が(30)℃未満の高度低体温では(意識障害)、(血圧低下)、(心室細動)、(心室性不整脈)、(心電図J波)がみられる。
- ⑤ 減圧症の主病態は急激な減圧による(窒素気泡)の発生に起因する(塞栓症)である。

暗記問題（穴埋め形式） 書込み用

- ◎ 分野ごとに穴埋め形式になっています。
- ◎ 穴埋め形式が終わったら、国家試験形式の問題にも挑戦してみよう！

【医の倫理と生命倫理】

- ① 蘇生拒否 (DNAR) は生前意思()に基づいている。
- ② 適切な医療機関へ搬送すること、特定行為を行うこと、自殺企図の傷病者に救急救命処置を行う根拠は生命倫理の()に含まれる。
- ③ 傷病者の意思を優先することは生命倫理の()に該当する。
- ④ ()は本人の人生観を尊重する。
- ⑤ 良質な医療を受ける権利について言及しているのは()である。
- ⑥ ヘルシンキ宣言で医学研究における()を守る勧告がなされ、()の指針が示された。

【健康と社会保障】

- ① 医療計画の5事業に()、()、()、()、()、があり、6疾病に()、()、()、()、()、()がある。
- ② 知的障害者には()が交付される。
- ③ 特定健康診査の対象は()歳からである。
- ④ 近年の人口動態統計で死因順位の1-3位は、()、()、()となっている。
- ⑤ 近年の人口動態統計で10-39歳の死因順位の1位は()である。
- ⑥ 近年の人口動態統計で0歳児の不慮の事故は()による死亡が最も多い。
- ⑦ 死因別に見た死亡率の年次推移で()と()は減少傾向にある。
- ⑧ 死亡者の最も多い労働災害は()である。
- ⑨ ()と()は常勤医師の配置が義務付けられている。
- ⑩ 保健所の業務は、()、()、()、()、()、()、()、()である。
- ⑪ 保健所長は原則として()である。
- ⑫ 国民健康保険の保険者は()で()や()が加入する。
- ⑬ 医療保険は()給付を原則とし、()給付、()給付、()給付、()給付がある。
- ⑭ 介護保険の保険者は()である。
- ⑮ 介護保険の保険料は()歳以上の者が支払う。
- ⑯ 介護保険の利用者は自ら()の種類を選択することができる。
- ⑰ ()管理指導、()、()、()は介護保険サービスに含まれる。
- ⑱ 生活保護制度は憲法にある()の保障に基づき、()が担当する。
- ⑲ 生活保護による扶助は()、()、()、()で受けられる。

- ⑳ 社会保障給付費のうち()の占める割合が最も多い。
- ㉑ 児童虐待を発見した者は()または()に通報する。
- ㉒ 疾病の一次予防に健康増進()・()、()がある。
- ㉓ 疾病の二次予防に()、()、三次予防に()がある。
- ㉔ 近年の障害の種類別にみた身体障害者では()が最も多い。
- ㉕ ()が空港検疫を行う。

【解剖・生理学】

- ① ()は肩の先端にある。
- ② ()は体表面から確認できる解剖学的指標のうち最も頭側にある。
- ③ 前腕を水平に保ち手掌を下に向ける運動が()、上に向ける運動が()である。
- ④ ()は正中線方向へ近づく動きである。
- ⑤ ()は矢状面で行われる動きである。
- ⑥ 外旋が可能な関節は()、()、()である。
- ⑦ 一方向のみ動く()型の関節に()、()がある。
- ⑧ 脳幹は()、()、()、()で構成されている。
- ⑨ 脊髄は中央部に()、辺縁部に()があり、()対の脊髄神経が出ている。
- ⑩ 脳血流は心拍出量の約()%である。
- ⑪ 健常成人の1日の髄液産生量は()mLである。
- ⑫ 視覚の中樞は()にあり、視覚路は網膜→()→()→()→()→()である。
- ⑬ 動眼神経は()、()に関与する。
- ⑭ 三叉神経は()を支配する。
- ⑮ 唾液分泌、()、()は()と関係がある。
- ⑯ 成人の切歯から喉頭までの長さは、()cmである。
- ⑰ 気管の分岐する高さは()であり、右気管支は左気管支に比して、分岐角度は()く、長さは()。
- ⑱ 腹直筋は()である。
- ⑲ 鼻腔には()機能、咽頭は()機能・()機能・()機能がある。
- ㉑ 健常成人の1回換気量は()mLである。
- ㉒ 大動脈弁は()である。
- ㉓ 心拍出量は()×()で算出できる。
- ㉔ 成人の安静時心拍出量は()Lである。
- ㉕ 食道には()ヶ所の生理的狭窄部がある。
- ㉖ 成人の食道は()の高さで咽頭から続き気管の()を通り、()を貫通して、

胃の()に接続する。

- ②⑥ 後腹膜臓器は()、()、()、()、()、()、()である。
- ②⑦ 回腸は()動脈により栄養される。
- ②⑧ 成人の食物の胃内停滞時間は()時間である。
- ②⑨ 肝臓には()、()、()、()、()、()、()の合成や分解などの機能がある。
- ③⑩ ()、()、()、()は()から分泌される。
- ③⑪ 膵臓のランゲルハンス島は()と()を分泌する。
- ③⑫ ナトリウムは()で再吸収される。
- ③⑬ 腎臓は()、()を産生する。
- ③⑭ 腎臓には()・()・()の調整する機能がある。
- ③⑮ 赤血球は()細胞で変形機能を有し、寿命は()日で、()で破壊される。
- ③⑯ 健常成人の白血球数は()/mm³である。
- ③⑰ 血小板は()細胞で()で生成され、寿命は約()日である。
- ③⑱ ()は月経周期に関係する。
- ③⑲ ()はカルシウム代謝に関係する。
- ③⑳ 副腎髄質は()を分泌し、副腎皮質は()を分泌する。
- ④① アルドステロンは()から分泌し()の調整に関与する。
- ④② 卵巣は()と()を分泌する。
- ④③ 眼球運動に()、()、()、()が関与する。
- ④④ ()と()は側頭骨に位置し、中耳に()、内耳に()が位置する。
- ④⑤ ()は鼓膜に接している。
- ④⑥ 平衡感覚を感知するのは()である。

【薬理学】

- ① 薬物の保管に関して、()や()も劣化の原因となる。
- ② LD₅₀は50%()、ED₅₀は50%()であり、LD₅₀はED₅₀よりも大きい。
- ③ 薬物投与経路で血中濃度がもっとも早く上昇するのは()である。
- ④ アドレナリンの作用は()収縮、()増強、()増加、()増加、()拡張である。
- ⑤ 乳酸リンゲル液の電解質組成は()に近似の組成であり、()と()を多く含む。
- ⑥ 乳酸リンゲル液は()液であり、細胞外液と()が等しい。
- ⑦ 乳酸リンゲル液は細胞外液の補充を目的に投与され、()を増加させる。
- ⑧ ブドウ糖は()の改善に用いる。
- ⑨ ()、()は出血を助長させる。
- ⑩ β刺激薬は()を拡張する。

【法医学】

- ① 心臓死の三徴には()・()・()がある。
- ② 早期死体現象に()、()、()がある。
- ③ 死後硬直は()→()→()の順番で出現する。
- ④ 死後硬直は死後()分～()時間で出現しはじめ、死後()時間で全身の諸関節に及び、()時間でもっとも強い硬直の状態となる。
- ⑤ 死後硬直の出現は死体温や環境温が高いと()く出現する。
- ⑥ 死斑は死後()分で薄く出現し、()時間ではっきりとし、()時間で著明となる。
- ⑦ 突然死の場合、死斑の出現は()く、程度も()い。一方、失血死の場合、死斑の出現は()く、程度も()い。
- ⑧ 晩期死体現象に()、()、()、()などがある。

【観察】

- ① GCS で除皮質肢位は()、除脳肢位は()、四肢を全く動かさないのは()である。
- ② JCS()は GCS3 に相当する。
- ③ 前頭葉の障害で()異常がみられる。
- ④ 側頭葉の障害で()障害、()失語がみられる。
- ⑤ 動眼神経の障害は()、()を起こる。
- ⑥ 顔面神経障害で()、()麻痺が起こる。
- ⑦ 舌咽神経の障害で()障害が起こる。
- ⑧ 迷走神経の障害で()麻痺が起こる。
- ⑨ 片麻痺の判断に()テストを行う。
- ⑩ 上肢の()の観察は、傷病者の状態を起こし、()をまっすぐ前方に伸ばし、()を上に向けて、()して行う。
- ⑪ 横隔神経麻痺により()呼吸となる。
- ⑫ ()呼吸は尿毒症、代謝性疾患でみられる。
- ⑬ 失調性呼吸は()が障害された時にみられる。
- ⑭ ()呼吸は、脳出血、脳梗塞、心不全などでみられる。
- ⑮ II 音は()の終わりに聴こえる。

【救急蘇生法】

- ① 「救命の連鎖」における、1 つ目の輪は()、2 つ目の輪は()、3 つ目の輪は()、4 つ目の輪は()である。
- ② 小児の一次救命処置で人工呼吸の準備ができたら直ちに()を行う。
- ③ 小児の救急蘇生法では、呼吸数()/分未満で人工呼吸を行う。
- ④ 小児の胸骨圧迫と人工呼吸の比率は、二人法の場合は()、一人法の場合は()である。
- ⑤ アドレナリンの投与は医師の具体的指示で()分毎に行う。
- ⑥ アドレナリンの追加投与の判断は()に合わせて行う。
- ⑦ アドレナリン投与は()を認めれば中止する。

【救急救命士が行う処置】

- ① 気管挿管の際に行う()は、声門視野の改善を図るために行う。
- ② 成人男性の気管チューブの内径は()mm または()mm、深さは門歯から()cm とする。
- ③ ビデオ硬性喉頭鏡による気管挿管は()が強く疑われる傷病者にも使用可能である。
- ④ 救急救命士が静脈路確保に用いる血管は()()、()、()、()、()である。
- ⑤ 静脈路確保の際の穿刺角度は()°、表在性の血管の場合は()°で行う。
- ⑥ ターニケットによる止血では、出血部位の()cm 中枢側にバンドを巻く。()時間までは許容され、解除する場合は、原則として()で行う。
- ⑦ 収縮期血圧は()よりも()で低く測定される。
- ⑧ 心電図モニターに用いる近似肢誘導で()が最も不整脈を見つけやすい。
- ⑨ 救急救命士の行う血糖測定は()歳以上で()以上の意識障害で適応となる。
- ⑩ ブドウ糖溶液は 20mL あたり()秒以上かけてゆっくり投与する。

【救急症候・病態生理学】

- ① ショックの 5P は()、()、()、()、()である。
- ② 心外閉塞・拘束性ショックでは()、()、()が原因となる。
- ③ 一時的脳病変による意識障害は()をきたしやすい。
- ④ 代謝性疾患に伴う意識障害では()が強い。
- ⑤ 無気肺は()の増加で低酸素血症をきたす。
- ⑥ 中枢性めまいの症状に()、末梢性めまいの症状に()、()、()がある。
- ⑦ 症候性てんかんの原因に()、()などがある。
- ⑧ ()と()は、頭蓋内圧亢進症状()である。
- ⑨ 胸痛が深呼吸で増悪する場合は()を疑う。
- ⑩ ()胸痛は急性心筋梗塞の特徴である。
- ⑪ 持続的な咳嗽や喀血が続いている場合、()を疑い、救急隊は()マスクを着用する。
- ⑫ 心窩部痛の原因に、()、()、()などがある。
- ⑬ マロリー・ワイス症候群は激しい嘔吐が原因で()性で()色の吐血をきたす。
- ⑭ 腸重積では()がみられる。

【疾病救急医学】

- ① くも膜下出血の原因に()と()がある。
- ② ()、()、()などは脳梗塞に特徴的な症状である。
- ③ 血栓溶解療法の適応は、発症から()時間以内である。
- ④ 気管支喘息発作で()、()、()、()は重篤に該当する症状である。
- ⑤ ()、()、()、()、()、()、()、()などは肺血栓塞栓症の誘引となる。
- ⑥ 過換気症候群は()女性に多く、()により誘発され、()、()、()、

- ()、()、()、()がみられる。
- ⑦ 急性心筋梗塞を疑う疼痛(放散痛)部位に、()、()、()、()、()、()などがある。
- ⑧ 急性心筋梗塞では()の心電図変化がみられる。
- ⑨ 急性大動脈解離では()、()、()、()、()、()、()などが生じる。
- ⑩ ()は急性肝炎の劇症化を示唆する。
- ⑪ 急性膵炎では()する痛み、()、()徴候、()徴候がみられる。
- ⑫ 十二指腸潰瘍では()時に増強する()痛がみられる。
- ⑬ 腎前性急性腎障害の原因に()、(急性心不全)、(大量出血)、(脱水症)がある。
- ⑭ 糖尿病ケトアシドーシスは()糖尿病に多く、()、()、()、()、()、()がみられる。
- ⑮ 腰椎椎間板ヘルニアは、腰背部痛が()に放散し、重症例では()をきたす。
- ⑯ 新生児のアプガースコアの項目に()、()、()、()、()がある。
- ⑰ SIDS は、生後()ヶ月がピークで()ヶ月未満に好発する。疫学的リスク因子に()、()、()、()などがある。
- ⑱ 認知症中核症状は()、()、()、()である。
- ⑲ 弛緩出血は()に発症し、大量出血をきたす。速やかに()を行う。
- ⑳ せん妄とは()に()、()、()を伴った状態のことである。

【外傷】

- ① 外傷死の三徴は()、()、()である。
- ② 外傷傷病者の緊急度評価の優先順位は()評価、()評価、()の順である。
- ③ ハンドル外傷で()、()、()が損傷を受けやすい。
- ④ 乗用車に跳ねられた歩行者の三次損傷は()との接触で起こる。
- ⑤ 初期評価と同時に行う処置として()、()、()、()がある。
- ⑥ 全身観察で下肢長差がみられた場合、()を疑う。
- ⑦ 急性硬膜下血腫は()が出血源で、急性硬膜外血腫は()からの出血が多い。
- ⑧ 前頭蓋底骨折では()、中頭蓋底骨折では()が出現する。
- ⑨ ()では下肢よりも上肢に強い麻痺が起こる。
- ⑩ 頸髄損傷では()、()、()、四肢の()、持続()、()、()消失がみられる。
- ⑪ 緊張性気胸では()、()減弱、()、()、()、()などがみられる。
- ⑫ 骨盤固定具は()に装着する。
- ⑬ 鈍的外力が皮膚軟部組織の表面に沿った方向に働いて起こる外傷に、()損傷と()損傷がある。()と()の間が離開する。
- ⑭ 四肢の急性阻血徴候(5P)に()、()、()、()、()がある。()と()はコンパートメント症候群の末期的状態における徴候である。

- ⑮ 高齢者の転倒で()、()、()、()が
発症しやすい。

【中毒】

- ① 急性中毒で発熱をきたすのは()と()である。
- ② ()では呼吸抑制をきたす。
- ③ ()は摂取後、遅発性に症状が出現する。
- ④ 三環系抗うつ薬による中毒で()、()が起こる。
- ⑤ ()は主にフグの肝臓や卵巣に含まれ()をきたす。
- ⑥ 有機リン中毒で()、()、()、()、()、()な
どがみられる。
- ⑦ パラコート中毒では、舌の()、口唇びらんがみられる。
- ⑧ ヒ素中毒で()臭を生じる。
- ⑨ 一酸化炭素中毒では、()、()がみられる。
- ⑩ 覚醒剤による精神運動興奮期に()、()がみられる。
- ⑪ アンフェタミン中毒では()、()、()をきたす。
- ⑫ モルヒネ中毒では()、()をきたす。
- ⑬ 化学物質に暴露された傷病者の()は直ちに除去する。
また、化学物質に暴露された傷病者の()は曝露後も進行する。
- ⑭ 化学物質に暴露された傷病者の暴露部位は()で洗浄する。
- ⑮ アルカリによる損傷では()、()、()を起こし、
損傷は組織の深部に達する。

【環境障害】

- ① 潜水反射は冷水の場合が多く、()で起こりやすく、()、()をきたす。
- ② 浸水時間が()分以上は予後が悪い。
- ③ 熱中症Ⅱ度では、()、()、()を伴う。
- ④ 中心部体温が()℃未満の高度低体温では()、()、()、
()、()がみられる。
- ⑤ 減圧症の主病態は急激な減圧による()の発生に起因する()である。

暗記問題（国家試験形式）

◎ フォームで解きたい方は、URL をタップまたは QR コードを読取ると問題を確認できます。

※色がついている問題は、最新のデータを反映していますが、その年度の問題が必ず出題されるわけではありません。

<https://forms.gle/h4tenXs9h1AqFH9s9>



✓	✓	✓	問 題	正 答	参照頁 (第10版救急救命士標準テキスト)	出典
			患者の権利を主な内容としているのはどれか。1つ選べ。 - リスボン宣言 - ジュネーブ宣言 - モンテビデオ宣言 - ヒポクラテスの誓い - ニュールンベルグ綱領	1	13	一般財団法人日本救急医療財団 第45回救急救命士国家試験A問題
			救急救命士が特定行為を実施する際の根拠となる生命倫理の原則はどれか。1つ選べ。 - 自 律 - 善 行 - 公 正 - 正 義 - 無危害	2	12, 13	一般財団法人日本救急医療財団 第46回救急救命士国家試験A問題
			救急救命士が行うインフォームドコンセントについて適切でないのはどれか。1つ選べ。 - 医療機関選定にも適応される。 - 傷病者が自らの意思に基づいて決定する。 - バターナリズムの考え方に基づいて決定する。 - 時間的に余裕がない場合は事後に説明を行う。 - 傷病者と家族とが正確に内容を理解できるように説明する。	3	14, 15	一般財団法人日本救急医療財団 第47回救急救命士国家試験A問題
			生命倫理の「4つの原則」における自律の尊重にあてはまるのはどれか。1つ選べ。 - 傷病者の意思を優先する。 - 医学的に正しいことを行う。 - 苦痛をできるだけ与えない。 - 安全な救急搬送を心がける。 - 観察に基づき医療機関を選定する。	1	12	一般財団法人日本救急医療財団 第45回救急救命士国家試験B問題
			医療計画について正しいのはどれか。1つ選べ。 - 市町村が策定する。 - 一次医療圏を規定する。 - 二次医療圏は都道府県単位である。 - 無医地区は市町村単位で規定する。 - 医療従事者の確保について対応する。	5	29, 30	一般財団法人日本救急医療財団 第47回救急救命士国家試験A問題
			救急自動車の現場到着所要時間(入電から現着に到着するまでに要した時間)の令和6年全国平均に最も近いのはどれか。1つ選べ。 2分 6分 10分 14分 18分	3	総務省消防庁：令和6年版 救急・救助の現況 p. 38	一般財団法人日本救急医療財団 第47回救急救命士国家試験A問題 一部変更
			医療計画の5疾病に含まれるのはどれか。1つ選べ。 - 肝硬変 - 膠原病 - 慢性腎不全 - 急性心筋梗塞 - 慢性呼吸不全	4	30	一般財団法人日本救急医療財団 第47回救急救命士国家試験B問題
			死因別にみた死亡率の年次推移において、減少傾向を示しているのはどれか。2つ選べ。 - 肺 炎 - 交通事故 - 脳血管疾患 - 悪性新生物 - 高血圧性を除く心疾患	2, 3	26, 27	一般財団法人日本救急医療財団 第46回救急救命士国家試験A問題
			精神保健福祉法において、入院にあたって患者本人の同意が必要な入院形態はどれか。1つ選べ。 - 応急入院 - 措置入院 - 任意入院 - 医療保護入院 - 緊急措置入院	3	38, 39	一般財団法人日本救急医療財団 第46回救急救命士国家試験B問題
			死亡者が最も多い労働災害はどれか。1つ選べ。 - 交通事故 - 墜落・転落 - 病原体による疾病 - 挟まれ・巻き込まれ - 化学物質による疾病	2	34	一般財団法人日本救急医療財団 第45回救急救命士国家試験A問題
			第8次医療計画における5疾病に含まれないのはどれか。1つ選べ。 - が ん - 感染症 - 糖尿病 - 脳卒中 - 心筋梗塞	2	厚生労働省：第8次医療計画について	一般財団法人日本救急医療財団 第45回救急救命士国家試験A問題 一部変更

✓	✓	✓	問 題	正 答	参照頁 (第10版救急救命士標準テキスト)	出典
			国民健康保険の被保険者として適切なのはどれか。1つ選べ。 1. 自営業 2. 市町村の職員 3. 私立学校の教職員 4. 75歳以上の高齢者 5. 中規模事業所の従業員	1	43	一般財団法人日本救急医療財団 第47回救急救命士国家試験A問題
			社会保障の給付額が最も多いのはどれか。1つ選べ。 1. 医 療 2. 介 護 3. 年 金 4. 生活保護 5. 公衆衛生	3	40	一般財団法人日本救急医療財団 第47回救急救命士国家試験A問題
			国民医療費に含まれる費用はどれか。1つ選べ。 1. 後期高齢者の健康診断 2. ひとり親の正常な分娩 3. 生活保護における医療給付 4. 高齢に対する肺炎の予防接種 5. 高額所得者の入院時室料差額	3	42-44	一般財団法人日本救急医療財団 第43回救急救命士国家試験A問題
			障害者福祉について正しいのはどれか。1つ選べ。 1. 窓口は都道府県である。 2. 療育手帳は身体障害者に交付されている。 3. 身体障害のうち内部障害は減少傾向である。 4. 自立支援医療は医療費の公費負担制度である。 5. 障害者総合支援法は障害の種別ごとに支援策を定めている。	4	48, 49	一般財団法人日本救急医療財団 第46回救急救命士国家試験A問題
			2024年度の我が国における一般会計算出のうち、占める割合が最も多いのはどれか。1つ選べ。 1. 防 衛 2. 公共事業 3. 社会保障 4. 教育及び科学振興 5. 地方交付税交付金等	3	40-42	一般財団法人日本救急医療財団 第45回救急救命士国家試験A問題 一部変更
			生活保護制度について正しいのはどれか。1つ選べ。 1. 費用は国が全額を負担する。 2. 受給者数の地域差は少ない。 3. 生活扶助が最も多額を占める。 4. 児童扶養手当は支給されない。 5. 憲法にある生存権の保障に基づく制度である。	5	51	一般財団法人日本救急医療財団 第45回救急救命士国家試験A問題
			常勤医師の配置が義務付けられている高齢者施設はどれか。2つ選べ。 1. 有料老人ホーム 2. 介護老人保健施設 3. 介護老人福祉施設 4. 特別養護老人ホーム 5. 認知症高齢者グループホーム	2, 4	50	一般財団法人日本救急医療財団 第45回救急救命士国家試験A問題
			介護支援専門員(ケアマネージャー)について正しいのはどれか。1つ選べ。 1. 訪問介護を行う。 2. ケアプランを作成する。 3. 介護支援は医師の指示の下に行う。 4. 気管カニューレ内の喀痰吸引を行う。 5. 厚生労働大臣が認可する資格である。	2	45	一般財団法人日本救急医療財団 第45回救急救命士国家試験A問題
			動脈血のpHの正常値はどれか。1つ選べ。 1. 6.8 2. 7.0 3. 7.2 4. 7.4 5. 7.6	4	60	一般財団法人日本救急医療財団 第46回救急救命士国家試験A問題
			外果として触知するのはどれか。1つ選べ。 1. 距 骨 2. 脛 骨 3. 踵 骨 4. 腓 骨 5. 立方骨	4	72-74	一般財団法人日本救急医療財団 第63回救急救命士国家試験A問題
			体表から観察できる身体部分のうち、最も頭側に位置するのはどれか。1つ選べ。 1. 大転子 2. 胸骨角 3. 喉頭隆起 4. 剣状突起 5. 頤(オトガイ)	5	73, 74	一般財団法人日本救急医療財団 第46回救急救命士国家試験A問題

✓	✓	✓	問 題	正 答	参照頁 (第10版救急救命 士標準テキスト)	出典
			外転神経が障害されたときに機能しなくなる外眼筋はどれか。1つ選べ。 1. 上斜筋 2. 下斜筋 3. 上直筋 4. 下直筋 5. 外直筋	5	85	一般財団法人日本救急医療財団 第47回救急救命士国家試験A問題
			脳神経と機能の組合せで正しいのはどれか。1つ選べ。 1. 視神経 ————— 眼球運動 2. 動眼神経 ————— 視 覚 3. 三叉神経 ————— 顔面表情筋の運動 4. 顔面神経 ————— 顔面知覚 5. 舌咽神経 ————— 嚥下機能	5	85	一般財団法人日本救急医療財団 第43回救急救命士国家試験A問題
			各部位とその皮膚を支配する感覚神経の脊髄分節デルマトームの組合せで、誤っているのはどれか。1つ選べ。 1. 顔 面 ————— C1 2. 肩鎖関節 ————— C4 3. 乳 頭 ————— T4 4. 臍 ————— T10 5. 鼠径部 ————— L1	1	86	一般財団法人日本救急医療財団 第45回救急救命士国家試験A問題
			吸気の補助に用いられる筋肉はどれか。1つ選べ。 1. 腹直筋 2. 内肋間筋 3. 外腹斜筋 4. 内腹斜筋 5. 胸鎖乳突筋	5	103	一般財団法人日本救急医療財団 第45回救急救命士国家試験A問題
			男性で思春期の分泌増加が特徴的なホルモンはどれか。1つ選べ。 1. グルカゴン 2. オキシトシン 3. カルシトニン 4. バソプレシン 5. テストステロン	5	142	一般財団法人日本救急医療財団 第47回救急救命士国家試験A問題
			成人の基礎代謝量のうち、中枢神経が消費する割合はどれか。1つ選べ。 1. 5% 2. 10% 3. 20% 4. 30% 5. 40%	3	160	一般財団法人日本救急医療財団 第44回救急救命士国家試験A問題
			ミネラル(無機質)はどれか。1つ選べ。 1. 炭 素 2. 酸 素 3. 水 素 4. 窒 素 5. ヨウ素	5	160	一般財団法人日本救急医療財団 第43回救急救命士国家試験A問題
			単一遺伝子疾患はどれか。1つ選べ。 1. 血友病 2. 高血圧 3. 糖尿病 4. 先天性風疹症候群	1	165	一般財団法人日本救急医療財団 第47回救急救命士国家試験A問題
			予防医学で一次予防に含まれるのはどれか。2つ選べ。 1. 特定健康診査 2. ワクチン接種 3. 胃内視鏡検査 4. 職場環境改善 5. リハビリテーション	2, 4	168-169	一般財団法人日本救急医療財団 第46回救急救命士国家試験A問題
			内毒素が病原性に関わる細菌はどれか。1つ選べ。 1. 緑膿菌 2. 破傷風菌 3. ジフテリア菌 4. ボツリヌス菌 5. 黄色ブドウ球菌	1	178	一般財団法人日本救急医療財団 第47回救急救命士国家試験A問題
			主に空気感染によって生じる疾患はどれか。1つ選べ。 1. 赤 痢 2. 水 痘 3. HIV感染症 4. ノロウイルス感染症 5. 季節性インフルエンザ	2	179	一般財団法人日本救急医療財団 第44回救急救命士国家試験A問題

✓	✓	✓	問 題	正 答	参照頁 (第10版救急救命士標準テキスト)	出典
			死亡診断書(死体検案書)における死因の種類で「病死および自然死」に含まれるのはどれか。1つ選べ。 1. 縊 頸 2. 中 毒 3. 溺 水 4. 老 衰 5. 窒 息	4	196, 197	一般財団法人日本救急医療財団 第46回救急救命士国家試験A問題
			死後硬直について正しいのはどれか。1つ選べ。 1. 心停止直後より出現する。 2. 顎関節の硬直が最も早い。 3. 環境温が高いと出現は遅い。 4. 手指足趾の方が四肢大関節より早く出現する。 5. 死亡直前に激しい運動していると出現が遅い。	2	195	一般財団法人日本救急医療財団 第45回救急救命士国家試験A問題
			「救急活動時における適正な観察の実施について」(平成30年6月4日総務省消防庁救急企画室長通知)による救急業務において、傷病者が明らかに死亡している場合の一般的な判断基準に含まれないのはどれか。1つ選べ。 1. 意識レベルがJCS300であること。 2. 呼吸がまったく感じられないこと。 3. 死後硬直または、死斑が認められること。 4. 体温が感じられず、冷感が認められること。 5. 心電図モニターでの波形消失を確認すること。	5	196	一般財団法人日本救急医療財団 第43回救急救命士国家試験A問題
			死斑について正しいのはどれか。1つ選べ。 1. 突然死では程度が弱い。 2. 失血死では出現が早い。 3. 仰臥位では背面側に出現する。 4. 一酸化炭素中毒では暗黒色となる。 5. 心停止後24時間たてば指圧によって消退する。	3	195	一般財団法人日本救急医療財団 第44回救急救命士国家試験B問題
			劇薬に指定されている医薬品はどれか。1つ選べ。 1. ブドウ糖 2. アスピリン 3. アドレナリン 4. 乳酸リンゲル液 5. 消毒用エタノール	3	200	一般財団法人日本救急医療財団 第47回救急救命士国家試験B問題
			乳酸リンゲル液に最も多く含まれている電解質はどれか。1つ選べ。 1. リ ン 2. カリウム 3. カルシウム 4. ナトリウム 5. マグネシウム	4	206	一般財団法人日本救急医療財団 第46回救急救命士国家試験B問題
			メディカルコントロールにおけるPDCAサイクルのうち、C(Check)にあたるのはどれか。1つ選べ。 1. 特定行為の指示 2. 搬送手段の選択 3. 事後検証の実施 4. プロトコルの改訂 5. 医療機関選定基準の策定	3	230, 231	一般財団法人日本救急医療財団 第47回救急救命士国家試験A問題
			救急告示病院の認定を行うのは誰か。1つ選べ。 1. 総務大臣 2. 厚生労働大臣 3. 都道府県知事 4. 都道府県医師会会長 5. 都道府県メディカルコントロール協議会会長	3	225, 226	一般財団法人日本救急医療財団 第46回救急救命士国家試験A問題
			「救急病院等を定める省令」(昭和39年厚生省令第8号)にある救急病院の要件はどれか。1つ選べ。 1. 救急科専門医が常時診療に従事している。 2. 救急科専門医が常勤医師として勤務している。 3. 救急医療について相当の知識及び経験を有する医師が病院管理者である。 4. 救急医療について相当の知識及び経験を有する医師が常時診療に従事している。 5. 救急医療について相当の知識及び経験を有する医師が常勤医師として勤務している。	4	225	一般財団法人日本救急医療財団 第44回救急救命士国家試験A問題
			現場トリアージシステムの構築において適切でないのはどれか。1つ選べ。 1. 事後検証体制の強化 2. 緊急度の定義の明確化 3. トリアージ評価基準の作成 4. アンダートリアージの容認 5. 医療機関受け入れ態勢の整備	4	237, 238	一般財団法人日本救急医療財団 第47回救急救命士国家試験A問題
			災害時の一次トリアージで黒と判定される症候はどれか。1つ選べ。 1. 低体温 2. 意識障害 3. 四肢麻痺 4. ショック 5. 自発呼吸停止	5	237, 238	一般財団法人日本救急医療財団 第47回救急救命士国家試験B問題

✓	✓	✓	問 題	正 答	参照頁 (第10版救急救命士標準テキスト)	出典
			災害時の二次トリアージ(PAT法)で緊急治療群に該当するのはどれか。1つ選べ。 1. 意識 JCS3 2. 呼吸数 28/分 3. 脈 拍 118/分 4. 収縮期血圧 86mmHg 5. SpO ₂ 値 92%	4	238, 239	一般財団法人日本救急医療財団 第46回救急救命士国家試験B問題
			多数傷病者に対する先着隊の最初の任務は何か。1つ選べ。 1. トリアージ 2. 現場指揮の宣言 3. 負傷者数の確認 4. 重症傷病者の処置 5. 傷病者搬送の準備	2	235	一般財団法人日本救急医療財団 第43回救急救命士国家試験B問題
			救急救命士法施行規則に定められている救急救命処置録の記載事項に含まれるのはどれか。1つ選べ。 1. 初診医師の氏名 2. 収容医療機関名 3. 指示を受けた医師の氏名 4. 初診時傷病名及び初診時程度 5. 指示を受けた医師の所属医療機関名	3	250, 251	一般財団法人日本救急医療財団 第46回救急救命士国家試験A問題
			救急活動における事故の報告と対応について適切なものはどれか。1つ選べ。 1. 関係者を懲罰の対象とする。 2. 報告システムは司法と連携する。 3. 上司への報告は当事者の判断で行う。 4. 再発防止策はシステムに焦点を当てる。 5. 事故の発生状況を調査してから報告する。	4	281	一般財団法人日本救急医療財団 第47回救急救命士国家試験A問題
			「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律」で二類感染症に含まれるのはどれか。1つ選べ。 1. 結核 2. ベスト 3. コレラ 4. A型肝炎 5. 新型コロナウイルス感染症	1	293	一般財団法人日本救急医療財団 第47回救急救命士国家試験A問題
			救急隊員のN95マスク症着が必要な感染症はどれか。1つ選べ。 1. 麻疹 2. 風疹 3. 細菌性赤痢 4. 季節性インフルエンザ 5. AIDS(後天性免疫不全症候群)	1	283, 284	一般財団法人日本救急医療財団 第47回救急救命士国家試験A問題
			医療事故と医療過誤との違いを説明する要素はどれか。1つ選べ。 1. 過失の有無 2. 職種の違い 3. 転帰の違い 4. 人的被害の有無 5. 発生場所の違い	1	281	一般財団法人日本救急医療財団 第44回救急救命士国家試験A問題
			ハインリッヒの法則において、1件の重大な事故の背景にあると考えられているのはどれか。1つ選べ。 1. 1件の軽微な事故 2. 30件の障害のない事故 3. 100件の軽微な事故 4. 300件の障害のない事故 5. 3,000件の障害のない事故	4	277	一般財団法人日本救急医療財団 第44回救急救命士国家試験B問題
			救急隊員のストレスを和らげるために行うデフュージングの実施時期として適切なものはどれか。1つ選べ。 1. 活動1時間後 2. 活動3日後 3. 活動1週後 4. 活動1か月後 5. 活動3か月後	1	296, 297	一般財団法人日本救急医療財団 第46回救急救命士国家試験A問題
			両側の瞳孔散大を特徴とする中毒原因物質はどれか。1つ選べ。 1. 覚醒剤 2. サリン 3. モルヒネ 4. 有機リン 5. アセトアミノフェン	1	314	一般財団法人日本救急医療財団 第47回救急救命士国家試験B問題
			成人女性に用いる気管内チューブの標準的選択サイズ(内径)はどれか。1つ選べ。 1. 5.0mm 2. 6.0mm 3. 7.0mm 4. 8.0mm 5. 9.0mm	3	359	一般財団法人日本救急医療財団 第45回救急救命士国家試験B問題

✓	✓	✓	問 題	正 答	参照頁 (第10版救急救命士標準テキスト)	出典
			最も高濃度の酸素投与ができる器具はどれか。1つ選べ。 1. 鼻カニューレ 2. フェイスマスク 3. デマンドバルブ 4. ベンチュリーマスク 5. リザーバ付きフェイスマスク	3	370-371	一般財団法人日本救急医療財団 第45回救急救命士国家試験B問題
			総務省消防庁の救急蘇生統計で心肺蘇生成功後の生活の質を評価する時期はいつか。1つ選べ。 1. 1週間後 2. 1か月後 3. 2か月後 4. 6か月後 5. 1年後	2	478, 479	一般財団法人日本救急医療財団 第46回救急救命士国家試験A問題
			救急蘇生統計において院外心停止の原因として最も多いのはどれか。1つ選べ。 1. 窒 息 2. 溺 水 3. 心原性 4. 交通事故 5. 脳血管障害	3	481, 482, 478	一般財団法人日本救急医療財団 第46回救急救命士国家試験B問題
			国際的に統一した統計評価にウツタイン様式が用いられるのはどれか。1つ選べ。 1. 中 毒 2. 熱 傷 3. 心停止 4. 心筋梗塞 5. 脳血管障害	3	478	一般財団法人日本救急医療財団 第45回救急救命士国家試験B問題
			「総務省消防庁：令和6年版 救急・救助の現況」における一般市民が目撃した心原性心肺機能停止傷病者の統計について正しいのはどれか。1つ選べ。 1. 年齢では60～69歳が最多である。 2. 全心肺機能停止傷病者数の約50%を占める。 3. 1か月後の生存率は社会復帰率と同義である。 4. 居合わせた市民により心肺蘇生が行われたのは約60%である。 5. 居合わせた市民によりAEDで電気ショックされたのは約20%である。	4	477, 総務省消防庁：令和6年版 救急・救助の現況 p. 86, 90	一般財団法人日本救急医療財団 第44回救急救命士国家試験A問題 一部変更
			心肺停止後蘇生され、「左手足のしびれが続いている。眠れない日もある。自転車通勤でコンビニで働いている。レジ係、掃除も何でもできる。」と答えている患者のグラスゴー・ビッツバーグ脳機能カテゴリーはどれか。1つ選べ。 1. CPC1 2. CPC2 3. CPC3 4. CPC4 5. CPC5	1	479	一般財団法人日本救急医療財団 第44回救急救命士国家試験A問題
			脳梗塞に対する血栓溶解療法の適応となるのは、発症から何時間以内とされるか。1つ選べ。 1. 1.5時間 2. 3.0時間 3. 4.5時間 4. 6.0時間 5. 7.5時間	3	549	一般財団法人日本救急医療財団 第45回救急救命士国家試験A問題
			食中毒の原因として、食後最も早期に腹痛が出現するのはどれか。1つ選べ。 1. ビブリオ 2. サルモネラ 3. 病原性大腸菌 4. 黄色ブドウ球菌 5. カンピロバクター	4	639	一般財団法人日本救急医療財団 第47回救急救命士国家試験A問題
			小児の出生から成熟時までの発育過程において、体組織別の発育型を示す。脳・中枢神経の発育を示すのはどれか。1つ選べ。 1. A 2. B 3. C 4. D 5. E	3	644, 645	一般財団法人日本救急医療財団 第46回救急救命士国家試験A問題

✓	✓	✓	問 題	正 答	参照頁 (第10版救急救命 士標準テキスト)	出典
			乳児突然死症候群の特徴はどれか。1つ選べ。 1. 夏季に多い。 2. うつ伏せ寝が多い。 3. 母親が30代に多い。 4. 親が非喫煙者に多い。 5. 出生順位が早い場合に多い。	2	655	一般財団法人日本救急 医療財団 第44回救急 救命士国家 試験A問題
			被虐待児症候群について正しいのはどれか。1つ選べ。 1. 世代間継承はない。 2. 8歳以上が大半を占める。 3. 直接死因は頭部外傷が多い。 4. ネグレクトは虐待に含まれない。 5. 児童相談所による相談対応件数が減少している。	3	656	一般財団法人日本救急 医療財団 第43回救急 救命士国家 試験A問題
			認知症のBPSD(周辺症状)の行動症状はどれか。1つ選べ。 1. 失 行 2. 徘徊 3. アパシー 4. 記憶障害 5. 見当識障害	2	663	一般財団法人日本救急 医療財団 第47回救急 救命士国家 試験A問題
			高齢者虐待で最も多いのはどれか。1つ選べ。 1. 性的虐待 2. 身体的虐待 3. 心理的虐待 4. 経済的虐待 5. 介護の放棄	2	661	一般財団法人日本救急 医療財団 第47回救急 救命士国家 試験A問題
			認知症の中核症状はどれか。1つ選べ。 1. 妄 想 2. 抑うつ 3. 見当識障害 4. 性的脱抑制 5. 攻撃的行動	3	662	一般財団法人日本救急 医療財団 第43回救急 救命士国家 試験B問題
			外傷後24時間以内の死亡がまれなのはどれか。1つ選べ。 1. 心損傷 2. 肝臓破裂 3. 小腸穿孔 4. 大血管損傷 5. 不安定型骨盤骨折	3	688-689	一般財団法人日本救急 医療財団 第44回救急 救命士国家 試験A問題
			「総務省消防庁：令和6年版 救急・救助の現状」において、搬送人員の最も多い外傷の事故種別はどれか。1つ選べ。 1. 加 害 2. 自損行為 3. 労働災害 4. 交通事故 5. 一般負傷	5	689, 総務省 消防庁：令和 6年度版 救 急・救助の現 況 救急編 p. 17	一般財団法人日本救急 医療財団 第44回救急 救命士国家 試験A問題 一部変更
			爆発の第1段階で生じる損傷はどれか。1つ選べ。 1. 鼓膜損傷 2. 気道熱傷 3. 四肢の離断 4. 腕神経叢損傷 5. 中心性脊髄損傷	1	700	一般財団法人日本救急 医療財団 第46回救急 救命士国家 試験A問題
			我が国の人口動態統計(平成30年)で、中毒死の原因物質として最も多いのはどれか。1つ選べ。 1. 農 薬 2. 覚醒剤 3. 向精神薬 4. アルコール 5. 一酸化炭素	5	790	一般財団法人日本救急 医療財団 第47回救急 救命士国家 試験A問題
			放射線の吸収線量に応じた発生確率で示される影響はどれか。1つ選べ。 1. 不 妊 2. 白血病 3. 脱毛症 4. 白内障 5. 皮膚障害	2	827	一般財団法人日本救急 医療財団 第47回救急 救命士国家 試験A問題